



## 愛情と自然が育てた やさしさ溢れる、竹治さん家のいちご

「たくさんの方に、たくさん笑顔とHAPPYを」をコンセプトに掲げ、地元で20年以上、「いちご」栽培を続けてきた竹治さん。昔ながらの土耕栽培や地下水の使用、さらに無加温（凍結対策時のみ最低限の暖房）という『古くて新しい』農法で、ひと粒ひと粒に安心と安全を込めた「いちご」を消費者に届けている。農薬の使用は極力控え、太陽熱による土壌消毒や自然界の力である天敵を活用する害虫対策など減農薬栽培を実践し、実が赤く色づき始めてからは農薬散布を一切行わず、子どもから大人まで誰もが安心して口にできる環境を守り抜いている。さらに、規格外品を有効活用する商品化やフードロス削減、環境負荷の低減にも積極的に取り組んでいる。

そんな「IKファーム」には、色彩豊かで形や香り、風味も異なる多彩な「いちご」が実り、見た目の美しさや芳醇な香り、ひと口ごとに異なる味わいを堪能できる。最盛期の1月～3月中旬には、旬の4種類を詰め合わせた「食べ比べセット」を20箱限定で販売。「恋みのり」「あまえくぼ」「かおりの」「紅ほっぺ」「はるひ」「すず」「星うらら」など、その時々旬の味を楽しみながら味わえるのだ。

また、地元の産直市やマルシェにも出店し、阿南市役所内での販売をはじめ、夕暮市場、あいさい広場、活竹祭、道の駅、キョーエイすきとく市など、地域に根ざした地産地消を実践している。どこで出会っても、そこには生産者の笑顔と、食べる人の幸せを願う温かな真心が込められている。

### Profile

### IKファーム

代表 竹治尚之・千鶴子  
阿南市羽ノ浦町で20年以上にわたり、四季や自然のリズムに寄り添った「いちご」栽培を続けてきた。減農薬にこだわって、昔ながらの栽培方法や自然な農法を駆使して美味しく多彩な「いちご」を栽培している。

